

## 第71回中国四国産科婦人科学会評議員会議事録

評議員会： 2018年9月23日（日） 7:30-8:20

於：松山市総合コミュニティセンター 2階 第8, 9会議室

出席者：会長 杉山 隆（愛媛）

理事 苛原 稔（徳島） 京 哲（島根） 工藤 美樹（広島）

下屋浩一郎（岡山） 杉野 法広（山口） 秦 利之（香川）

原田 省（鳥取） 前田 長正（高知） 増山 寿（岡山）

幹事 藤岡 徹（愛媛） 鎌田 泰彦（岡山）

評議員 池上 信夫（高知） 伊藤 隆志（鳥取） 越智 博（愛媛）

金西 賢治（香川） 田中 宏和（香川） 谷口 文紀（鳥取）

田村 博史（山口） 長谷川雅明（岡山） 林 和俊（高知）

平田 英司（広島） 前川 正彦（徳島） 三春 範夫（広島）

三好 博史（広島） 村上 朋弘（広島） 安井 敏之（徳島）

矢野 浩史（愛媛） 山本 暖（広島） 横山 幹文（愛媛）

（欠席者：平松 祐司，池谷 東彦，江尻 孝平，

岩部 富夫，上田 克憲，金崎 春彦，栗岡 裕子，関 典子，

土谷 治子，寺本 秀樹，中塚 幹也，中山健太郎，沼 文隆，

濱脇 弘暉，春名 充，藤田 卓男，藤野 俊夫）

### 会長挨拶：

杉山会長より，評議員会開催の挨拶があった。

おはようございます。第71回中国四国産科婦人科学会の評議員会を開催させていただきました。プログラムを詰め込んだため，本会が早い時間の開催となつてしまい済みません。

今回のテーマとしましては，若手の先生に来ていただくプログラムを組んでおります。一般演題は116題が集まりました。また本学会が初となりますが，託児所を設けましたところ，7名の先生のご利用がありました。それでは今日1日宜しくお願いいたします。

### 報告事項：

- 1) 杉山会長より指名を受け，鎌田幹事より平成29年度会員数および会費納入状況，平成30年度会費納入状況，会誌発行状況について報告があった。
- 2) 杉山会長より，昨日の学術委員会で本年度の学会賞（八木賞）につき審議され，鳥取大学の

谷口文紀先生の論文 Analysis of pregnancy outcome and decline of anti-Mullerian hormone after laparoscopic cystectomy for ovarian endometriomas. (J Obstet Gynaecol Res, 2016, 42(11), 1534-1540)の受賞が決定したとの報告がなされた。

- 3) 杉山会長より、平成 30 年度臨床公募研究に、岡山大学の光井 崇先生から「妊娠高血圧症候群の母体より出生した児の 6 歳までの身体発育の調査」に関する応募があり、学術委員会での審議の上で採択されたことが報告された。

杉山会長：最近の妊娠高血圧症候群の研究では、出生児の高血圧症やメタボリックシンドロームとの関連が報告されています。岡山大学では増山教授と光井先生がこれまでに 3 歳児までをフォローされています。今回は 6 歳までとし、また多施設での検討を行うことになっています。また学術委員会でも、対象者とコントロールをどのように設定するかなど、今後も研究計画を策定し brush up していくことが審議されました。

- 4) その他の報告事項として、杉山理事より、学会賞の八木賞は年齢制限がなく、臨床研究をバックグラウンドとしたかなり格調高い賞ですが、それとは別に若手の先生に頑張っていたく奨励賞のような賞を創設してはという意見が学術委員会でありました。したがって今後、そのような奨励賞の創設を学会で検討していくことでまとまったとの報告があった。

#### 協議事項：

- 1) 平成 29 年度決算書

杉山会長より指名を受け、鎌田幹事より、平成 29 年度会計の報告があった。

機関誌収入の掲載料が 956,204 円であるが、第 66 号第 2 巻の発行が遅れたために、平成 29 年 6 月末時点での未納金が 523,120 円ある。これらを合計すると 1,479,324 円となり、ほぼ例年通りの金額となる。

その後、杉山会長より、本日は監事が 2 名とも欠席ですが、監査報告を池谷、江尻両先生より事前にいただき、また昨日の理事会でも池谷先生にお認めいただいた。さらに学術基金の 4000 万円の用途についても昨日の理事会で議論されたが、今後も若い人に興味を持たせるようなハンズオンセミナーの開催費等に使っていくことも考えているとの報告があった。

そして平成 29 年度決算書は、全会一致で承認された。

- 2) 平成 30 年度予算案

鎌田幹事より報告があった。すでに各財務委員からの承認を頂いている旨が伝えられた。

収入の部については、今年度の会費納入の義務のある会員数は 1,249 名で、会費納入率は例年 99%以上であること、また若干名の過年度会費納入と併せて考え 1,249 人分で計算した。また機関誌収入について、刊行協力費は例年厳しいため 5 万円減額して 25 万円を、掲載料は

過去3年間の投稿件数および1編あたりの掲載料より150万円を計上した。利息は昨年同様で策定した。

支出の部については、機関誌刊行費の印刷費を過去3年間の状況より410万円のままで、発送費を30万円に増額。また昨年の総会で決定した通りPlus One産婦人科セミナー開催の予算として100万円を計上した以外は、例年通りに策定したと説明がなされた。なお公費研究助成金の平成30年度予算が研究取り下げによりゼロになった件につき、杉山会長より説明があった。

杉山会長：本年度の名誉会員のご推薦はありませんでした。また平成29年度臨床公募研究に高知大学の牛若昂志先生から「再発子宮頸癌に対するベバシズマブ」に関する応募があり採択されましたが、愛媛大学からほぼ同様の研究を既にJGOGに申請していたことが判明しました。そのため理事各位にメールで事情を説明のうえ、高知大学の前田理事と牛若先生には研究を取り下げてくださいました。しかし愛媛大学からJGOGに申請したプロジェクトは、平成30年6月29日に開催されたJGOG子宮頸がん委員会で不採用となった。その理由は、JCOG1311のスタディ「進行（再発）子宮頸がんに対するconventional TC療法 vs. dose-dense TC（各群210例）、BEVを投与してよい前向き研究」において同様の検討が行えることが分かったためです。

特に意見なく、全会一致で承認された。

### 3) 次期および次々期開催の件

杉山会長から、順番に従って、来年の第72回は2019年9月に米子市の米子コンベンションセンターで原田教授が開催されること。また第73回（2020年）は、岡山大学の増山教授にお願いしますとの報告があった。

原田理事から、2019年9月21、22日に米子市で開催します。先生方に於かれましてはご協力のほど宜しくお願いしますとの挨拶があった。

### 4) 役員交代について

杉山会長から、各役員の交代については追加資料の如く改選されたこと。任期は2018年9月24日から2019年9月22日までとすること。また名誉会員である広島県の田中敏晴先生のご逝去につき報告があった。

### 5) 名誉会員推戴について

杉山会長から、本年度は「推薦無し」が伝えられた。

### 6) プロジェクトPlus One産婦人科セミナー収支報告について

工藤理事より、収支報告が伝えられた。

工藤理事：昨年、広島の中四学会でしたプロジェクトPlus Oneセミナーですが、各施設で1

人ずつ入局者を増やしたら、全国で年に80人産婦人科医が増えるのではと平松先生が5年前より始められたのを、中四で継続して行っております。

2つのセミナーを施行し、1つがJ-CIMELSで2つ目が腹腔鏡セミナーです。それぞれの支出はお手元の資料にもございますが、合計で1,459,527円。日産婦本部から50万円の補助があったため、残りの959,527円を中四から拠出していただきました。

J-CIMELSは初期研修医1年目7名、2年目10名、計17名の参加があり、腹腔鏡セミナーは初期研修医1年目9名、2年目8名、学生1名、計18名の参加がありました。

各大学の医局長に調べてもらったところ、これまでのセミナー参加者の6割以上が産婦人科医になっていて、その8割以上が中四で産婦人科をしていて、それなりの成果のあるプロジェクトとなっています。

杉山会長：本日はハンズオンセミナーに計14名が参加しております。学生の参加がなく、初期研修医、専攻医（後期研修医）の参加となっており、このことは事前に各大学の医局長にご協力いただくべきでした。

J-CIMELSは、本学会でインストラクターコースを1回、ベーシックコースを3回開催いたします。ホームページ等では掲載しておりましたが、若い人への周知が足りなかったのが反省点です。

本件については特に意見無く、全会一致で承認された。

#### 7) その他

杉山会長より、若い人たちの学術集会への参加を増やすために、学会参加者の入局年度をe医学学会カードの登録状況により確認し、その結果をフィードバックする試みをしていきたいと思いますとの報告がなされた。

杉山会長より閉会の辞あり、閉会。

以上